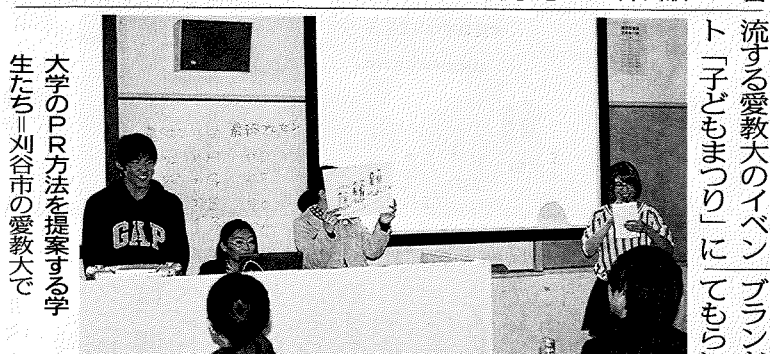


# 愛教大のPR策探る

## 模擬授業、催し…学生提案

愛知教育大(刈谷市)で、学生が同大の知名度向上や地域貢献のために考えたPR策を発表した。

教員志望の学生たちが問題解決のための提案力を養う授業の一環。二年生三十二人が八グループに分かれて大学の課題を検討し、地域の需要に沿った健康づくり講座、受験生向けのPR動画のネット配信、高校生への模擬授業など、幅広い分野から提案した。



大学のPR方法を提案する学生たち＝刈谷市の愛教大で

流する愛教大のイベント「子どもまつり」に

注目。現行の実行委員会方式から実習としてカリキュラム化することや、子どもに愛教大ブランドの商品を作ってもらい、売上金を発展途上国の支援に充てる案を示した。

美術教育講座の富山祥瑞教授は「デザインは思い付きやアイデアと異なり、筋道をつけて組み立てる思考作業。教員になつてからの授業づくりにも通じるはず」と話した。

（土屋晴康）